



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：片野之万 副会長：清水 裕 幹事：三荒弘道 会報委員長：馬上 晋

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30

会場 ブランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2018年 3月 8日 第 3144 回 週報第 3144 号

本日 3月 8日	会員数 60名	対象者 58名	出席者 41(41)名	出席率 70.69%			
前々回 2月 20日	会員数 60名	対象者 58名	出席者 36(36)名	出席率 62.07%	MUP 9名	計 45名	修正率 77.59%

本日の卓話者ご紹介

NPO JIA事務局長 原田燎太郎様
赤座真子様



卓話

【原田様報告内容】

平塚ロータリークラブの皆様には 2014 年 5 月の卓話にご招待頂いて以来、4 年に渡り継続的な関りとお支援を頂いております。本当にどうもありがとうございます。

過去 15 年の活動により達成したことは、下記の 5 点です。

- ・中国の地元の学生が地元のハンセン病快復村で活動する組織ができたこと
- ・その活動により、かつては人の寄り付かなかった快復村への人の流れが生まれ、一部の快復者は家族との絆を取り戻した
- ・その活動と組織が中国政府に登録され、中国人スタッフによって運営される現地化ができたこと
- ・他のアジア諸国への活動の飛び火（インド、インドネシア、ベトナム）
- ・活動資金の多元化・安定化（個人定期寄付、企業定期寄付、財団、クラウドファンディング、活動 OG/OB）

これまでの皆様のご支援により達成できたことは主に下記の 3 点です。

- ・ハンセン病快復者の生き様の記録：ハンセン病快復者の生き様の記録『光』の出版、快復者のドキュメンタリー作成と放映会の開催
- ・ハンセン病快復者・中国の若者・支援者のモチベーションアップ：ロータリークラブメンバー 5 名による中国のハンセン病快復村訪問による、ハンセン病快復者、中国人ボランティア、活動 OG/OB との交流の実施、支援者への波及効果（チャリティーライブ開催、イベントへの参加、桂林のハンセン病快復村訪問、大阪市平野区社会福祉協議会講演会、桂林快復村ツアーの開催）
- ・日中の若者の交流と成長の促進：
 - * JIA と東日本大震災被災地支援 NPO との交流事業実施（JIA の新プロジェクトの推進）
 - * JIA による日本のハンセン病療養所訪問（日本の療養所

プロジェクト実現の促進)

* JIA の快復村ドキュメンタリー放映会の開催（ドキュメンタリー鑑賞、成果報告、ドキュメンタリーの改善）

* JIA と平塚の若者（高校生、大学生）、ロータリークラブメンバーとの交流の実現

* Yahoo! ニュース掲載 (<https://news.yahoo.co.jp/feature/561>)

このように、皆様のご支援により、中国での活動にさらなる広がりや深まりがもたらされております。心より御礼申し上げます。そしてこの活動は今、下記の赤座の報告にあるように、日本のハンセン病療養所でも行われようとしています。もしご協力頂ける場合、原田までご連絡頂ければ幸いです (tynoon@gmail.com)。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

【赤座様による日本のハンセン病療養所での活動紹介】

■現在の活動に至った背景

・ JIA の変化

JIA は、組織の成長や、中国の外国に対する政策規制が強まった影響などを受け、中国国内での資金調達や広報活動の必要性が強まっている。活動の成長速度についていくためには、中国で実働部隊として働ける中国人のスタッフが不可欠であり、日本人スタッフが中国で活躍する機会が以前に比べ減ってきた。

■日本人キャンパー同士のつながり欠如

日本には、中国でハンセン病快復村ワークキャンプに参加する学生団体が複数存在する。しかし、各団体を繋げる組織がないため、人もノウハウもまとまりがなく単体で活動しているのが現状。また、大学を卒業した後に活動での経験を活かす場がない。JIA での経験が、次の世代に伝承されないまま流出している。

■日本ハンセン病療養所の現状

日本のハンセン病療養所には、全国合計で 1400 名前後の快復者が住んでいる。高齢化が進み、快復者の平均年齢は 85 歳。毎年 100-200 名の快復者が亡くなっている。彼らと向き合い、生の話を聞く時間は非常に限られている。療養所で活動する市民団体は複数あるが、ワークキャンプのように人との絆を深める活動をする団体は皆無。

■ハンセン病と関わった日本人としての使命

- ・日本のハンセン病快復者の最期に寄り添い、彼らの存在を未来につなげる。
- ・日本の療養所を拠点として、世界各国、各地の若者がつながる場を創造する。
- ・ハンセン病を通して“差別”、“偏見”と真剣に向き合い、行動する人材を育成する。

■2018 年の活動

- ・日本のハンセン病療養所でボランティア活動を組織するための団体を設立する。
- ・日本のハンセン病療養所での定期的にボランティア活動を実施する。
- ・ハンセン病と関わる活動をしている他団体と協同し、それぞれの良さを最大限に生かす。その過程で、ワークキャンプのノウハウを伝達する。
- ・企業の研修として、日本のハンセン病療養所を訪れる機会を提供する。
- ・年に 2 回（夏・冬）、1 週間ほどの泊まり込みワークキャンプを実施する。その際、日本人キャンパーだけでなく、中国で JIA の活動に参加する大学生、中国のハンセン病快復村の快復者を招待し、活動交流を図る。

卓話者ご紹介

原田燎太郎様

2002年、中国のハンセン病元隔離村で生活・社会環境を改善する活動を開始。
2003年大学卒業後、広東省潮州市リンホウ村（元隔離村）に住み込み、中国の学生に活動参加を呼びかける。2004年にNPO法人『家』(JIA, Joy In Action)を設立し、地元の学生が地元の村で自主的・継続的に活動する組織を構築。現在では華南五省50ヶ所以上の元隔離村において年間約2000人の学生による活動の主催・参加があり、過去15年間の主催・参加者は延べ2万人。

赤座真子様

2006年、北京外国語大学留学中にJIAを知り、JIA 広州オフィスで2か月間インターンとして働く。2009年に上海の日系企業に就職し、連休は頻繁に中国のハンセン病快復村に足を運ぶ。2012年3月に仕事を辞め、中国湖南省のハンセン病快復村に半年間住み込む。2013年3月から2017年3月までJIA事務局スタッフとして勤務し、主にJIAの資金調達、広報、渉外、イベント開催を担当する。現在、日本のハンセン病療養所で活動する団体を設立するために準備中。

幹事報告

◎先週の金曜日に入会希望の石井允三幸（いしまさゆき）様の承認を皆様にメール、ファックスでお願いいたしました。
本日が締切ですが、今現在、反対の会員はおりませんので承認とみなします。

◎3月10日（土）第10回インター・ローターアクト委員会が開催されます。
森会員が出席されます。

◎4月8日(日)開催の地区研修・協議会にご出席頂く次年度の各部門委員長、担当者の方には既にご案内をお送りしていますが、回答の締切は本日までです。
バス、お弁当の手配がありますので必ず本日まで回答をお願いいたします。バスを利用される方はその旨もお申し出ください。
バスご利用の方は10:00 NTT前集合です。

◎会員健康診断実施のお知らせを先日皆様にお送り致しました。
実施日：4月5日（木） 昼食前の12:15ころから検査開始となります。
検査会場：「撫子の間」
お申し込みの締切は3月13日（火）、15日（木）の例会時に検査キットをお渡し致します。

◎17-18年度の企業訪問開催のご案内を先週お配りいたしました。
日時：4月12日（木）通常例会後にバスにてグランドホテル神奈中より出発致します。
(株)鈴廣の工場見学（施設見学、かまぼこ作り体験、講話）をした後に、強羅に移動し、ミシュランガイドに載る予約の取りにくい「イトウダイニング・バイ・ノブ」にて夕食を頂きます。
会費はお食事代として一人7,000円頂きます。
昨年9月に卓話に来てくださった鈴木梯介様の鈴廣工場見学ですので、多くの会員の参加をお待ちしております。

◎台湾東部地震への義捐金の協力をお願い
先週もお願いいたしましたが、2月6日深夜に台湾東部に襲った地震による、被災地の第3480地区へ御見舞いの気持ちをお送りしたいと思いますので、先週ご欠席された会員のみなさまのご協力をお願いいたします。
お一人500円以上いくらでも構いません。よろしくお願

いいたします。

◎3月11日(日)14:00開演で、大磯ロータリークラブ主催の東日本大震災孤児・遺児支援のチャリティーコンサートのチケットがまだありますので、行かれる方は受付までお申し出ください。

◎2018年3月9日（金）～12日（月）まで平塚南ロータリークラブと姉妹クラブの台湾嘉義北区ロータリークラブ共催の子ども絵画展が平塚市民プラザで開催されます。開催時間は10:00～18:00まで、入場無料です。お近くに行かれる方はお立ち寄りください。



お世話になりました♪

転勤される野村證券平塚支店長の玉井会員から後任としてご紹介される横山鉄生様

委員会報告

・青少年委員会 委員長 瀬尾光俊
3月3日第48回平塚市少年少女マラソン大会報告

・出席委員会 委員長 葛西敬
2月のスマイル報告大賞

牧野國雄 会員

結婚して47度目の記念日を迎えました。お陰様で何事もなく女王様(妻)のお世話で暮らせて頂いております。ありがとうございます。

関口幸恵 会員

今、日付を記入して気付きました!今日はふ・ふ・ふ♥の日ですね♡
日中、今日は忙しいなあ～とネガティブになりながら運転していたら、いきなり私は元気になってしまいました!なぜなら、なんと、玉井会員が独りなのに笑いながら歩いていらっやっただけです!それもピンクのネクタイして…車の中で吹き出し大笑い!いきなり元気になれました。玉井さん、ありがとう♡
穴野様、ようこそお越し下さいました。お話楽しみに参りました。西村さん、チョコありがとうございました。

メークアップ (MUP)

9名

青山紀美代、栗原良彰、柏手茂、竹下徹洋、常盤卓嗣、鳥海衛一、鳥山優子、豊川忠紀、柳川信男会員

本日のスマイル

15名

ゲスト

2名

NPO JIA事務局長 原田燎太郎様、赤座真子様

ビジター

0名

卓話・行事予定

3月15日(木) 湘南地域県政総合センター 所長 太田良勝様
3月22日(木) 夜間例会 入会記念卓話 山口紀之会員
4月5日(木) 会員健康診断

市内例会変更

現在ございません。

